

オハヨーたかねざわ

地域の新聞店が発行する地域情報紙（ローカルフリーペーパー）

2022年2月15日発行 #93



山崎新聞店

しもつかれ料理教室 雪花菜の調理スタッフが直伝



しもつかれ料理教室が二月六日元気あっぱむらの加工所『雪花菜（きらず）』調理室にて開催されました。指導役は、雪花菜の調理スタッフ坂本さん、古口さん、加藤さん、古郡さんの四人です。

これまでしもつかれを作ったことのない参加者がほとんどでしたが、『鮭の頭を焼いて煮込む下処理』が事前に済ませてあったのでスムーズに進行していました。

鬼おろしで大根や人参をすりおろす作業は、とても力を使うので疲れる工程です。「大変でした。指ごと削ってしまいそう」と参加者。細く切った大根、人参、炒った大豆、鮭の頭、油揚げを鍋でしばらく煮た後、酒粕を入れます。

四班に分かれての進行だったので、鍋に入れる順序やタイミングなど細かい工程は指導役によって違っていたようです。煮込む際には「焦げるので混ぜない」という指導役もいましたが、基本的に味付けは醤油と塩のみとの点は共通していました。

ほぼ出来上がりという段階になり、他班の味見をして回りました。「同じ材料で作っているはずなのに、全然違うんだなと思いました」と、しもつかれの奥深さを体験していました。「人生初しもつかれ」という高橋さん（埼玉出身）に感想を聞くと「お酒に合います。大人の味ですね。なかなかいいです」とのお返事でした。

最後は冷ました後、小分け容器に移し替え、お持ち帰りとなりました。



古郡さんのレシピは『下野新聞 ASPO plus』（二次元コード）から閲覧可能です

第15回 ひょうたん展示会 3年ぶりの開催 規模縮小し 約800点



一月二十八日より三日間開かれたひょうたん展示会。当初予定していた町内外の小学生児童や県外作家による作品の展示は延期とし、規模を縮小して開催されました。

「大谷翔平の MVP」「藤井聡太四冠」など、令和三年の偉業を瓢箪表面に並べ記した作品の作者は、「（暗いニュースもあったが）おめでたいこともあったので、思い出せるようにと瓢箪にしました」とのことでした。

（その他、展示会についての詳細は、新聞店ホームページでご紹介します）



高根沢の日本酒 純米大吟醸酒 翠のひと刻 (すいのひととき) 完成



メディア各社も注目



お披露目を開催



とちぎ地産地消夢大賞優秀賞

高根沢町日本酒づくり 復活プロジェクト 第三弾
 高根沢産の酒米「山田錦」を100%使用し、新たに作られた純米大吟醸酒「翠のひと刻」が完成しました。販売開始直後、店頭在庫が一時売り切れる好調なスタートを見せています。

販売開始の一月二十九日にはメディア向けのお披露目が開催されました。とちぎテレビのカメラや新聞各社の記者たちが集まり、インタビューの撮影や取材がなされました。

酒米を栽培したのは若手農家集団「高根沢町4Hクラブ」の会長村上尚成さんと永井秀和さん、田代裕紀さんの三人です。「高根沢の誇りとなるような酒米ができればいいな」と思っ死に栽培しました」とテレビ取材に答える村上会長。昨年は台風による倒伏もなく、良いコメができたそうです。

収穫後は那須烏山市の島崎酒造により醸造されました。島崎社長によると、大吟醸の一番上のクラスのコシテストに出品するタイプをつくる方法と同じような工程を所要所にいれて最善を尽くしたそうです。

「翠のひと刻」のデザインはグラフィックデザイナーのひばらさんが担当しました。高根沢といえば、のどかな田園風景。広大な夜空を映す田植え直後の田んぼがデザインされています。

とちぎ地産地消夢大賞
 「翠のひと刻」を誕生させた「高根沢町日本酒づくり復活プロジェクト」は、取り組みが評価され「とちぎ地産地消夢大賞コンクール」において、優秀賞を受賞。十二月十一日福田知事より表彰を受けました。

販売場所
 種類は「火入れ」と「生酒」（要冷蔵保管）の二つ。それぞれ千本ずつの生産です。

元気あっぷむらでは、本館売店と直売所「ここにしかないいちば」にて販売中。贈答用の発送も受け付けています。宝積寺駅東口にある村上酒店高根沢支店でも取り扱われています。

ローソン店長 小林文子さん 詐欺被害防ぎ 感謝状贈呈

「詐欺被害を未然に防いだとして、さくら署は24日、ローソン高根沢宝石台1丁目店の小林文子（こばやしあやこ）店長（56）に感謝状を贈った(下野新聞1/25)」 詐欺被害を防止した小林店長にお話を伺いました。

同店にて高額な電子マネーを購入しようとした男性がいたので、声をかけた小林店長。「よく分からないんだけど」と曖昧な返答だったので、怪しいと判断。男性を説得し、お巡りさんをお呼び承諾を得て、無事、被害を防止できました。



この他にも数年前から疑わしい場合には声を掛けてきたそうです。「未然に防げるなら払わず済むので遠慮なく話してくれればと思います」(小林店長)

講演会 私の怒りと賢く付き合う 家族のアンガーマネジメント

怒りの感情と上手に付き合うための対処スキルを学ぶ講演会。怒りの感情を正しく理解することは「本当に伝えたいこと」を正確に使える第一歩。家族間のコミュニケーションを振り返り、見直すヒントを見つけましょう。

定員 : 先着100名(要申込み)
 参加費 : 無料
 講師 : 松本和子氏
 申込み : 電話もしくは、申込みフォーム(二次元コードより)
 問合せ : 028-675-3175 (高根沢町生涯学習課)
 ※町ホームページ(右上の二次元コード)より注意事項等、詳細をご確認ください
Zoomを使用したオンライン開催です

開催日 : 2022年 **2/26(土)**
 時間 : 14:00~16:00 (13:30~入室可能)



のぶおさん 西小で講演 テーマは「夢をつかもう」

一月二十五日、西小学校の5年生を対象に総合学習の時間において『のぶおさん』の中島伸雄さんが「夢をつかもう」をテーマにお話をされました。これまでの経歴から始まり、地域おこし協力隊として高根沢へ移住し、「CDの全国発売」という夢を叶えた経緯などを語りました。途中には、高根沢PRソング等ののぶおさん曲のソロ演奏もあり、子どもたちは拍手をするなどして演奏を聴きました。

ご自身の夢が「体操選手」「ホテルマン」というように、小・中・高校と年を経るごとに変わってきたことを紹介。会場にいた先生の小学生時代の夢(宇宙飛行士・プロ野球選手)もインタビューで聞き出し、教師になるための努力についても触れました。

講演の最後には「一週間かけて夢を三つ書き出してみよう」という課題を出しました。「夢は一つじゃなくてもいい。やりたいこと、自分にむいていることを焦らず探してみてください。夢として書き出すことで興味や関心も広がって、沢山挑戦してみることにもつながると思います」「辛いことや簡単なじゃないことも勿論あるだろうけど、叶えるための努力をしたことが、その後役立つこともあると思います。分からないことがあったら先生に相談してみよう。そうすれば必ず力になってくれます」



『住めば都の高根沢』などを演奏。西小ではお昼の放送で のぶおさんの曲が流れているため、子どもたちにとって馴染みのあるメロディーです。